

平成 29 年度

文京学院大学
卒業生意識調査

平成 30 年 4 月

目 次

I. 調査企画.....	3
1. 調査の目的	4
2. 調査の実施要領	4
II. 調査結果.....	5
1. 大学への入学に大きく影響したこと	6
2. 在学中の通学拠点	7
3. 大学での活動により自分自身が成長したと感じた時期.....	8
4. 自分の成長ぶりを強く感じたこと	9
5. 在学中に心配だったこと	11
6. 在学中の満足度	12
7. 家庭で話題になったこと	14
8. 学生生活に対する総合満足度..... エラー! ブックマークが定義されていません。	
9. 家族や親族などに文京学院大学への入学をすすめたいと思うか	17
III. 因果分析結果	18

I. 調査企画

1. 調査の目的

文京学院大学は、自立と共生を教育理念として、さまざまな教育研究への取り組みを展開してきた。

昨年に引き続き、より一層の教育力向上を図るための参考資料として、卒業生のアンケート調査を実施した。

2. 調査の実施要領

(1) 調査対象および回収サンプル数

平成 29 年度本学院の卒業生を対象とし、卒業生 656 名から回答を得た。

内訳は以下の通り。

	人間学部	経営学部	外国語学部	保健医療技術学部	合計
卒業生	108	148	127	273	656

(2) 調査方法

卒業生は・・・(詳細が解りかねるため、割愛)

(3) 調査時期

	人間学部	経営学部	外国語学部	保健医療技術学部
卒業生				

(4) 調査内容

1. 大学への入学に大きく影響したこと
2. 在学中の通学拠点
3. 大学の活動によって自分自身が変わった、あるいは成長したと感じた時期
4. 成長ぶりを強く感じたこと
5. 在学中に心配だったこと
6. 在学中の満足度
7. 家庭で話題にしたこと
8. 学校生活に対する総合満足度
9. 家族や親戚、知り合いに大学への入学をすすめようと思うか
10. 在籍中に自分自身にとってためになったこと、役立った制度、行事
11. 文京学院に対する意見・要望・不満・改善点

Ⅱ. 調査結果

- ※ 学部別分析を行っておりますが、サンプル数が違うため参考としてお読み下さい。
- ※ 参考までに、全体の傾向を昨年度のデータと比較を行っております。

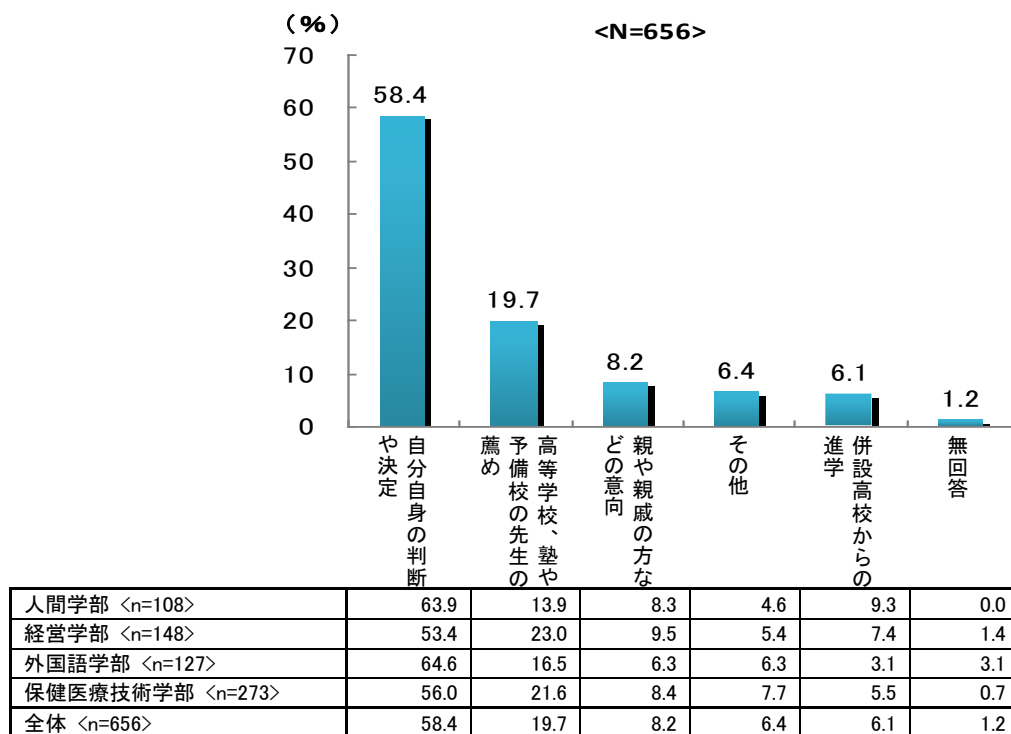
	人間学部	経営学部	外国語学部	保健医療技術学部	合計
昨年度卒業生	117	154	132	183	586
今年度卒業生	108	148	127	273	656

1. 大学への入学に大きく影響したこと

約 6 割近く (58.4%) が「自分自身の判断や決定」で選択している。

学部別に見た場合、【経営学部】では「高等学校、塾や予備校の先生の薦め」(23.0%)、【外国語学部】では「自分自身の判断や決定」(64.6%)が、他学部よりも比較的多め。

図 1-1. 入学に大きく影響したこと



卒業生全体で見ると、「自分自身の判断や決定」が約 6 割近く (58.4%) を占めている。2 位は「高等学校、塾や予備校の先生の薦め」(19.7%) となっている。

この結果の順位は昨年度と同じである。項目別に見ると、1 位の「自分自身の判断や決定」は 60.4%⇒58.4%と 2 ポイント減少しており、2 位の「高等学校、塾や予備校の先生の薦め」も 21.3%⇒19.7%と 1.6 ポイントの減少となっている。続く 3 位の「親や親戚の方などの以降」や 4 位の「その他」についてはそれぞれ 1 ポイント未満増加しており、5 位の「併設高校からの進学」は 4.1%⇒6.1%と 2 ポイント増加している。

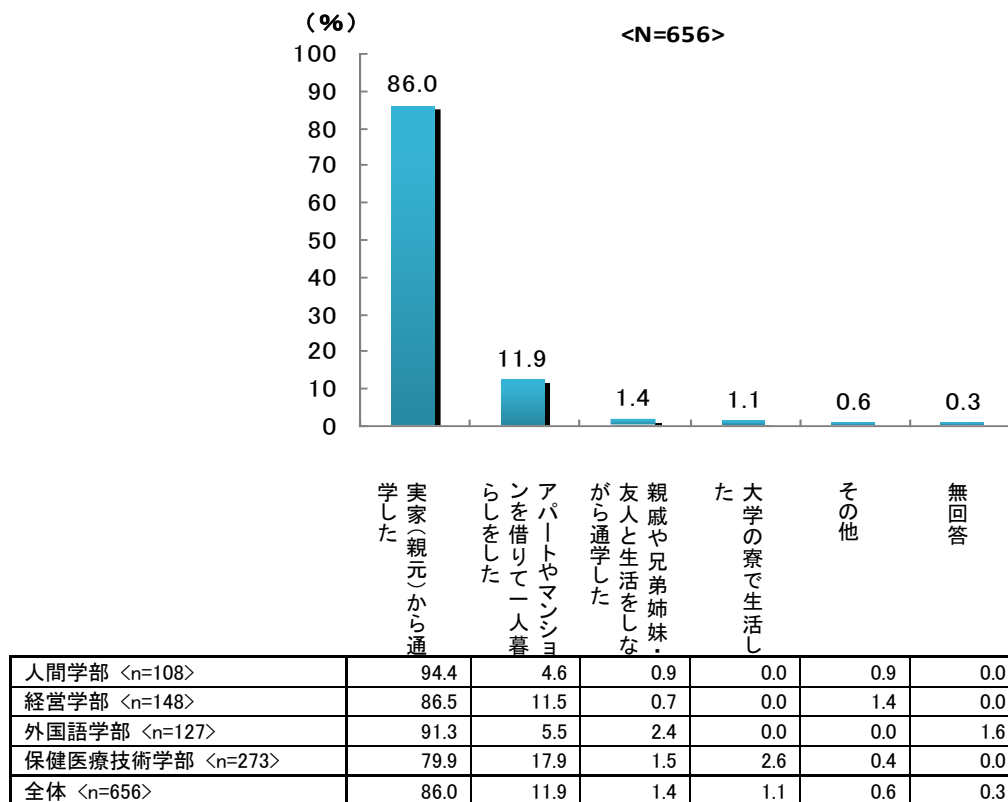
大学の学部別に見た場合、どの学部も「自分自身の判断や決定」が多いが、昨年と比べると、【外国語学部】と【人間学部】がそれぞれ 1.7 ポイント、1.5 ポイント増加しているが、それ以外は、減少している。

【保健医療技術学部】は「自分自身の判断や決定」が 60.7%⇒56.0%と 4.7 ポイントの減少となっているが、「高等学校、塾や予備校の先生の薦め」は 19.1%⇒21.6%と 2.5 ポイントの増加となった。

2. 在学中の通学拠点

8割以上(82.4%)が「実家（親元）から通学した」を挙げ、多数を占めている。学部別に見た場合、「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」が、【人間学部】では低め(4.6%)、【保健医療技術学部】では高め(17.9%)である。

図 1-2. 在学中の通学拠点



卒業生全体で見ると、「実家（親元）から通学した」が他を大きく引き離して、8割(86.0%)を超えている。続く「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」が(11.9%)、「親戚や兄弟姉妹・友人と生活をしながら通学した」(1.4%)、「大学の寮で生活した」(1.1%)と続く。

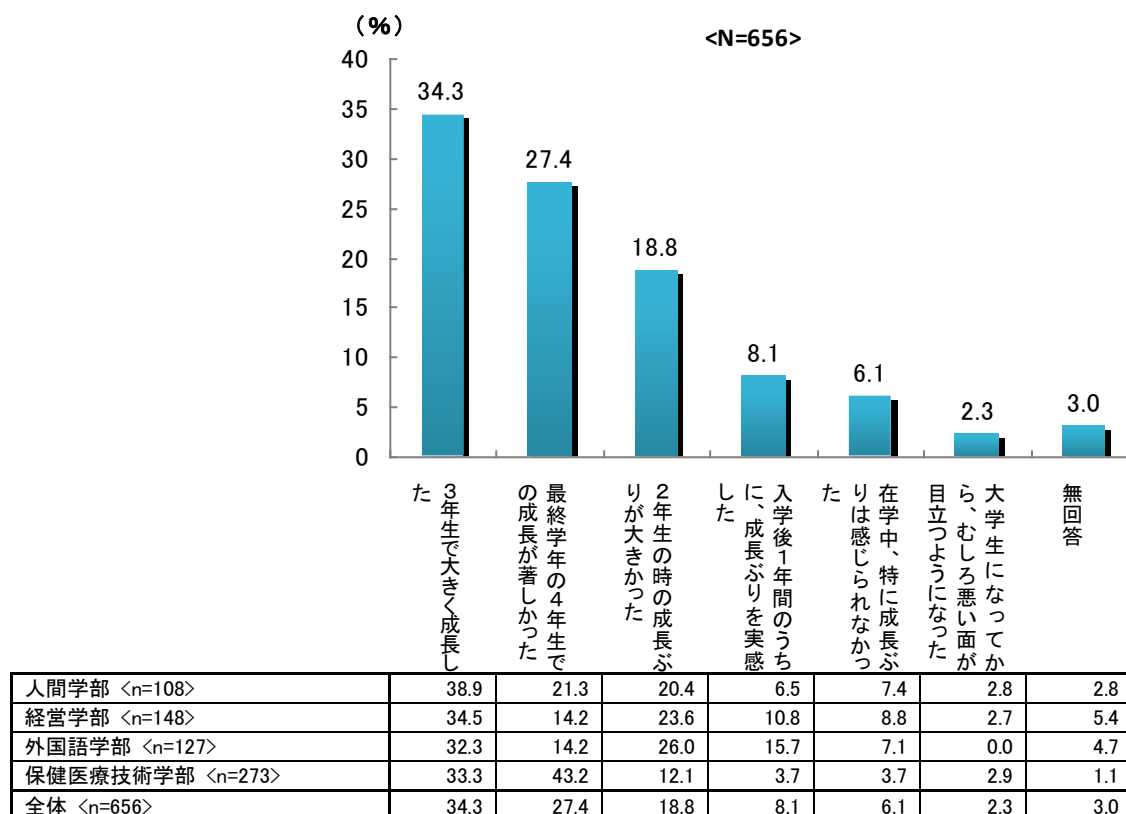
この結果の順位は昨年度と同じである。項目別に見ると、1位の「実家（親元）から通学した」は 82.4%⇒86.0%と 3.6 ポイント増加しているが、2位、3位、4位は減少している。なかでも2位の「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」は 14.0%⇒11.9%と 2.1 ポイントの減少となった。

大学の学部別に見た場合、「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」が【人間学部】は 4.6%とやや低めである事に対し、【保健医療技術学部】では 17.9%と多い。また、昨年度と比較した場合、【人間学部】と【外国語学部】「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」はそれぞれ 8.5%⇒4.6%、10.6%⇒5.5%と約半減しているが、「実家（親元）から通学した」はそれぞれ 88.0%⇒94.4%、88.6%⇒91.3%と 9割を超えた。

3. 大学での活動により自分自身が成長したと感じた時期

成長を感じた卒業生は 88.6%で、「3 年生で大きく成長した」(34.3%)が最も多い。
成長したと感じた時期は、3 年生、4 年生（最終学年）、2 年生、1 年生 となっている

図 1-3. 大学での活動により自分自身が成長したと感じた時期



卒業生全体で見ると、「3 年生で大きく成長した」が 3 割以上(34.3%)と最も多く、「最終学年の 4 年生での成長が著しかった」(27.4%)、「2 年生の時の成長ぶりが大きかった」(18.8%)、「入学後 1 年間のうちに、成長ぶりを実感した」(8.1%)と成長ぶりを感じた卒業生は 88.6%と 8 割を超える。対して、「在学中、特に成長ぶりは感じられなかった」(6.1%)、「大学生になってから、むしろ悪い面が目立つようになった」(2.3%)と感じられなかった卒業生は 1 割にも満たない。

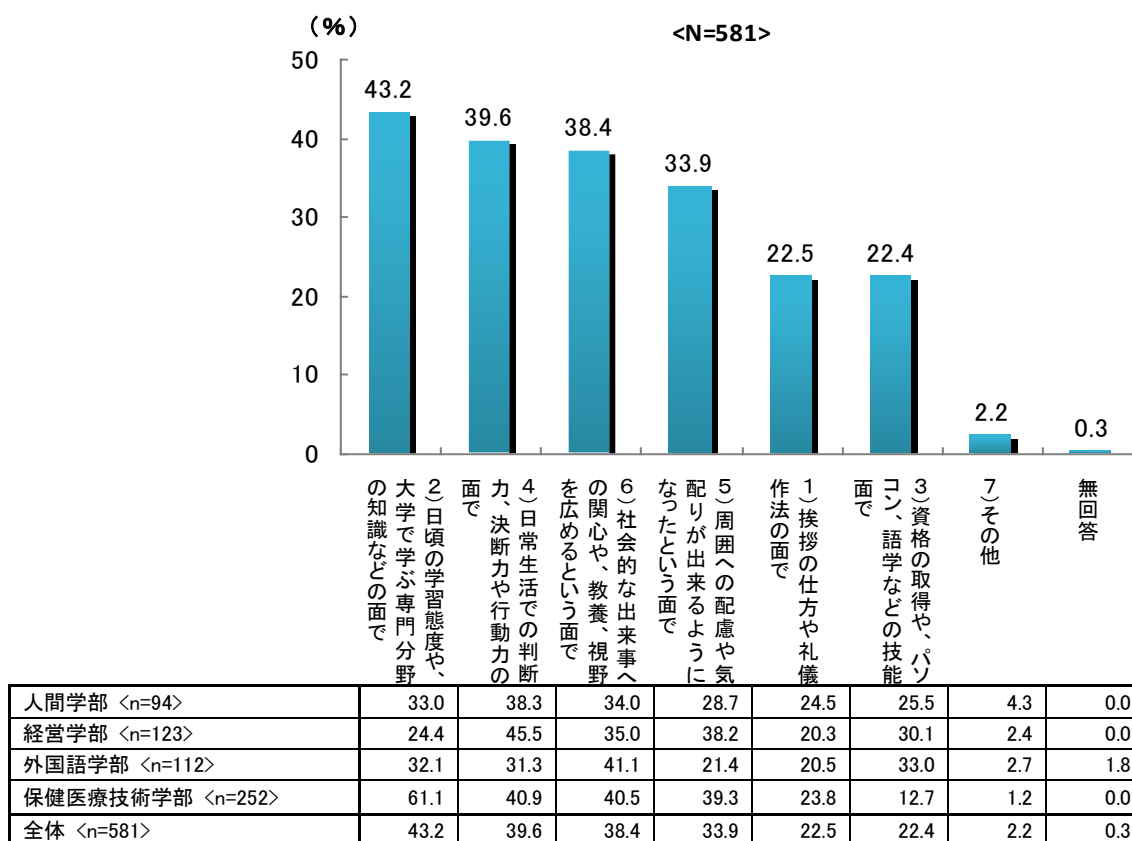
本結果の順位は昨年度と同じである。項目別に見ると、1 位の「3 年生で大きく成長した」は 31.4%⇒34.3%と 2.9 ポイント増加している。また、2 位の「最終学年の 4 年生での成長が著しかった」(27.4%)も 0.1 ポイントではあるが増加しているが、それ以外の項目は減少している。

大学の学部別に見た場合、【保健医療技術学部】は「最終学年の 4 年生での成長が著しかった」が 47.0%⇒43.2%と 3.8 ポイント減少しているが、他学部と比較すると 20 ポイント以上多く上回っている。一方、「2 年生の時の成長ぶりが大きかった」は 10.9%⇒12.1%と 1.2 ポイント増加しているが、他学部と比較すると 8 ポイント以上低い。【外国語学部】は「3 年生で大きく成長した」が 24.2%⇒32.3%と 8.1 ポイント増加しているが、「2 年生の時の成長ぶりが大きかった」は 31.1%⇒26.0%と 5.1 ポイント減少している。

4. 自分の成長ぶりを強く感じたこと

「2）日頃の学習態度や、大学で学ぶ専門分野の知識などの面で」が43.2%と4割を超えており、「4）日常生活での判断力、決断力や行動力の面で」も39.6%と約4割近くとなっている。

図 1-4. 自分の成長ぶりを強く感じたこと(成長ぶりを感じたと回答した人のみ)



3.で成長ぶりを感じたと回答した卒業生に対し、具体的にどの項目かの回答より、「2）日頃の学習態度や、大学で学ぶ専門分野の知識などの面で」と「4）日常生活での判断力、決断力や行動力の面で」がそれぞれ43.2%、39.6%と約4割となっている。続く「6）社会的な出来事への関心や、教養、視野を広めるという面で」（38.4%）、「5）周囲への配慮や気配りが出来るようになったという面で」（33.9%）も3割を超える。

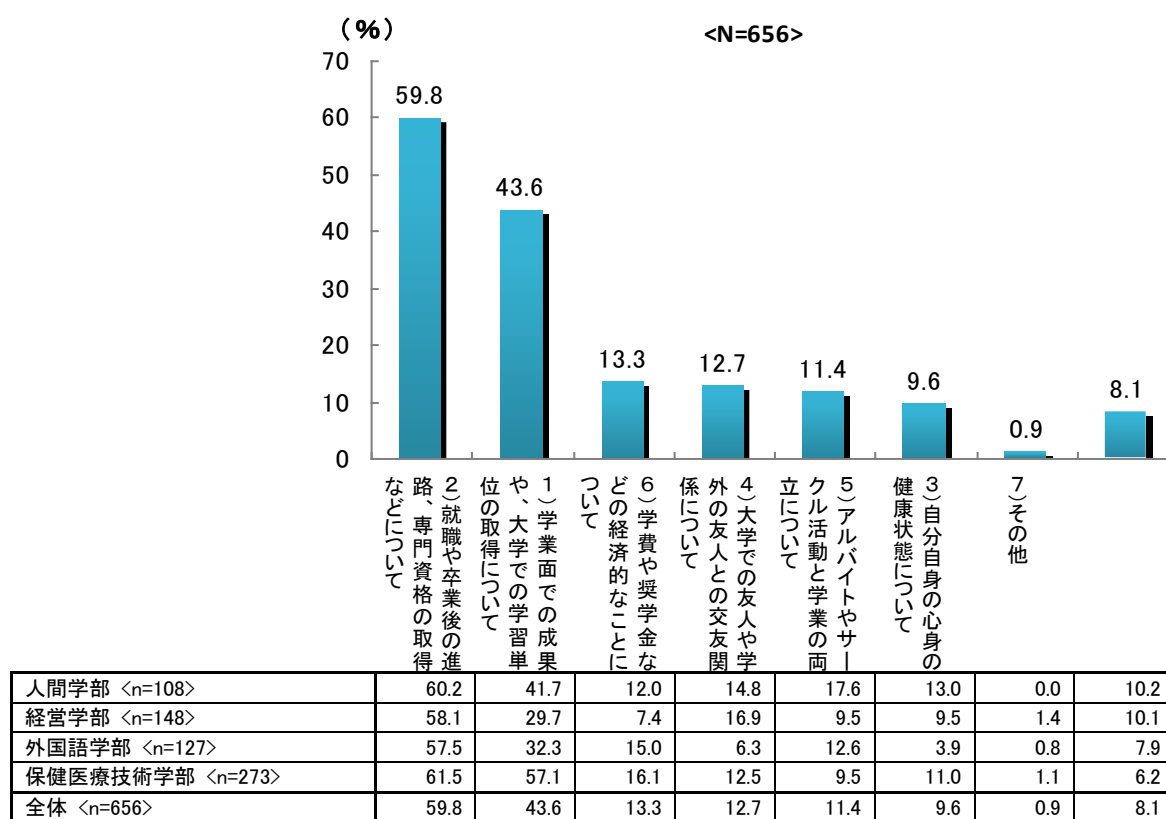
本結果の順位を昨年度と比較すると、2位と3位、5位と6位が逆転している。「6）社会的な出来事への関心や、教養、視野を広めるという面で」は40.4%⇒39.6%と0.8ポイント減少して今年度3位に、「4）日常生活での判断力、決断力や行動力の面で」は35.2%⇒39.6%と4.4ポイント増加して今年度2位となった。また、「3）資格の取得や、パソコン、語学などの技能面で」は29.8%⇒22.4%と7.4ポイント減少して今年度6位に、「1）挨拶の仕方や礼儀作法の面で」は20.4%⇒22.5%と2.1ポイント増加して今年度5位となった。

大学の学部別に見た場合、【保健医療技術学部】は「2）日頃の学習態度や、大学で学ぶ専門分野の知識などの面で」が他学部と比べ 28.1～36.7 ポイント高いが、「3）資格の取得や、パソコン、語学などの技能面で」は 12.8～20.3 ポイント低い。また【外国語学部】は「3）資格の取得や、パソコン、語学などの技能面で」が他学部と比べ 2.9～20.3 ポイント高いが、「5）周囲への配慮や気配りが出来るようになったという面で」は 7.3～17.9 ポイント低い。

5. 在学中に心配だったこと

「2）就職や卒業後の進路、専門資格の取得などについて」（59.8%）が圧倒的に多い。学部別で見た場合、【保健医療技術学部】では「1）学業面での成果や、大学での学習単位の取得について」が他学部よりも高めである。

図 1-5. 在学中に心配だったこと



卒業生全体では、「2）就職や卒業後の進路、専門資格の取得などについて」（59.8%）が最も高く約6割となっている。続いて「1）学業面での成果や、大学での学習単位の取得について」（43.6%）が約4割、以下「6）学費や奨学金などの経済的なことについて」（13.3%）、「4）大学での友人や学外の友人との交友関係について」（12.7%）、「5）アルバイトやサークル活動と学業の両立について」（11.4%）、「3）自分自身の心身の健康状態について」（9.6%）となっている。

本結果の順位は昨年度と同じである。項目別に見ると、「2）就職や卒業後の進路、専門資格の取得などについて」は 52.9%⇒59.8%と 6.9 ポイント増加しているが、それ以外の項目は減少している。

大学の学部別に見た場合、【経営学部】では「6）学費や奨学金などの経済的なことについて」（7.4%）が他学部よりも 4.6～8.5 ポイント低く、【保険医療技術学部】では「1）学業面での成果や、大学での学習単位の取得について」（57.1%）が他学部よりも 15.4～27.4 ポイント高めである。

6. 在学中の満足度

〈大変満足〉が約 15%～36%の間で、〈どちらかという満足〉を合わせた《満足項目》では、約 77%～90%と大半を占める割合となっている。

【保健医療技術学部】のポイントは、全体的に高い傾向にある。

図 1-6. 在学中の満足度

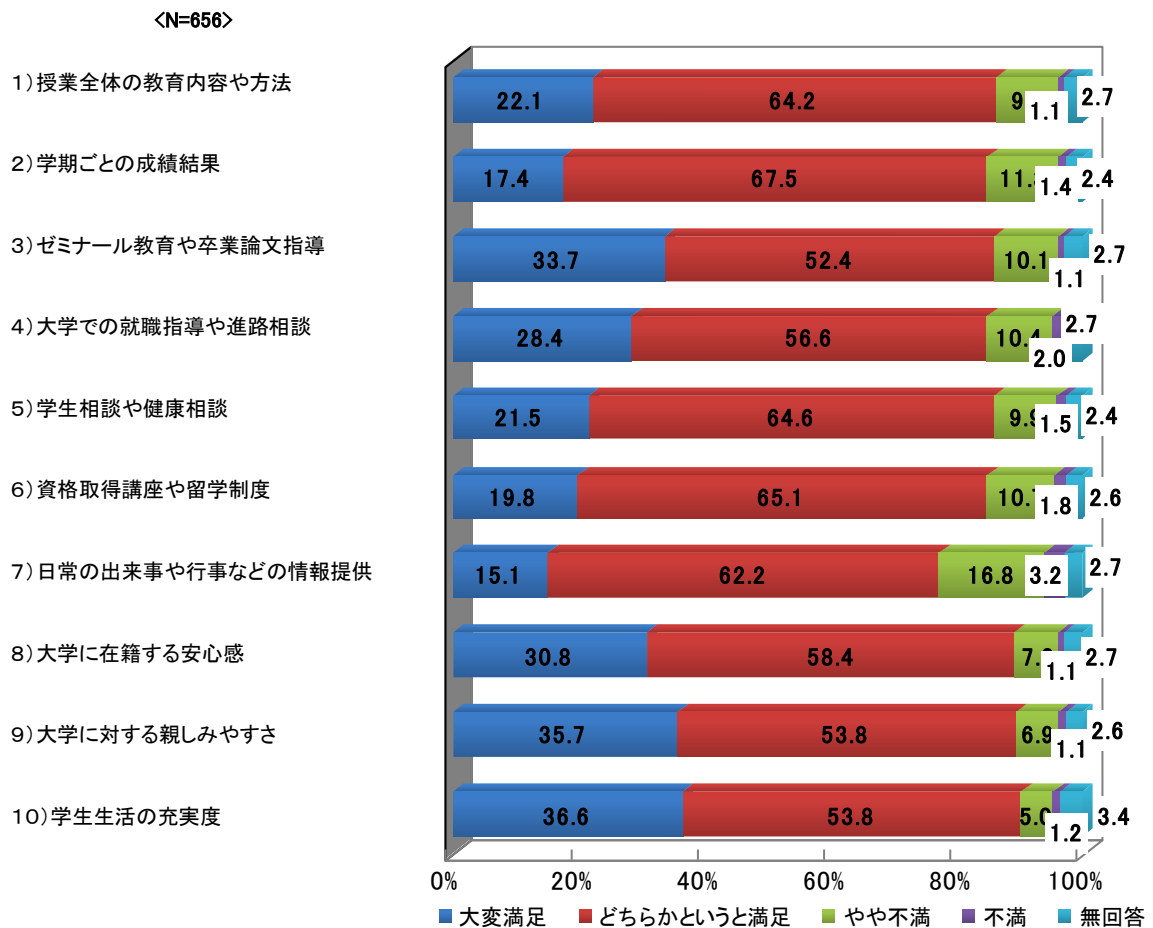
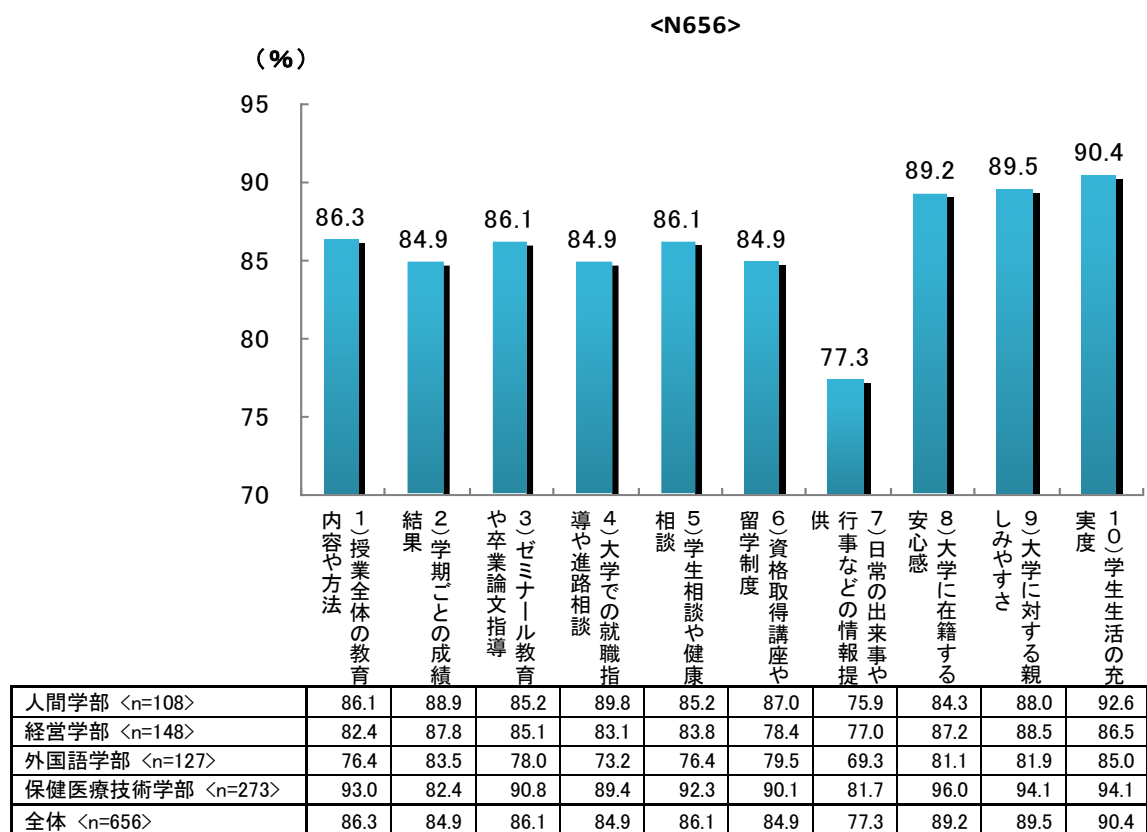


図 1-7. 在学中の満足項目（〈大変満足〉＋〈どちらかという満足〉）



卒業生全体では、《満足項目》では「10）学生生活の充実度」（90.4%）、「9）大学に対する親しみやすさ」（89.5%）、「8）大学に在籍する安心感」（89.2%）がいずれも 89%を超える満足度を示し、〈大変満足〉もそれぞれ 36.6%、35.7%、30.8%と 30%を超えている。また、その他の項目でも「7）日常の出来事や行事などの情報提供」（77.3%）以外の《満足項目》は 80%を超えている。

昨年度と比較すると、《満足項目》では、「7）日常の出来事や行事などの情報提供」（77.3%）以外は 80%を超えている。中でも「10）学生生活の充実度」は 88.7%⇒90.4%と 1.7 ポイント増加し 9 割を超えた。他項目より低めの「7）日常の出来事や行事などの情報提供」は、〈大変満足〉が 15.9%⇒15.1%と 0.8 ポイント減少しているが、〈どちらかという満足〉が 58.5%⇒62.2%と 3.7 ポイント増加しており、《満足項目》では 74.4%⇒77.3%と 2.9 ポイントの増加となった。また、「1）授業全体の教育内容や方法」と「3）ゼミナール教育や卒業論文指導」以外の項目は全体的に増加している。

大学の学部別に見た場合、【保健医療技術学部】は全てが 80%を超え高い満足度を示しており、7 項目で 90%を超えている。なかでも「8）大学に在籍する安心感」は 96.0%と満足度が高い。【人間学部】は、「10）学生生活の充実度」の《満足項目》が 82.1%⇒92.6%と 10.5 ポイント増加した。

7. 家庭で話題になったこと

〈かなり話題になった〉、〈少し話題になった〉を合わせた「話題になった」では、「3）就職や卒業後の進路のこと」（91.5%）が9割を超えている。

【経営学部】の「2）実習や留学などのこと」（47.3%）は、他学部よりも低め。

図 1-8. 家庭で話題になったこと

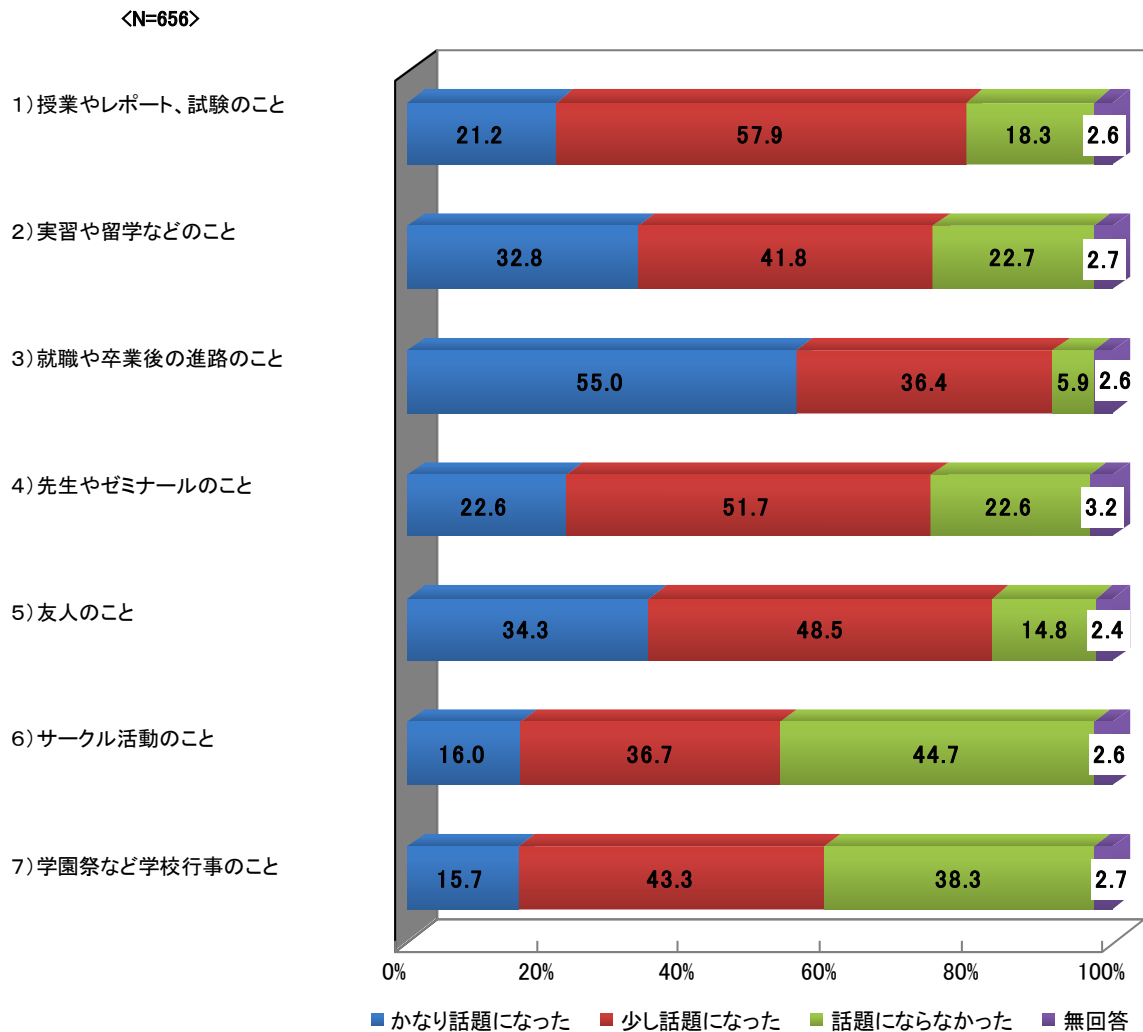
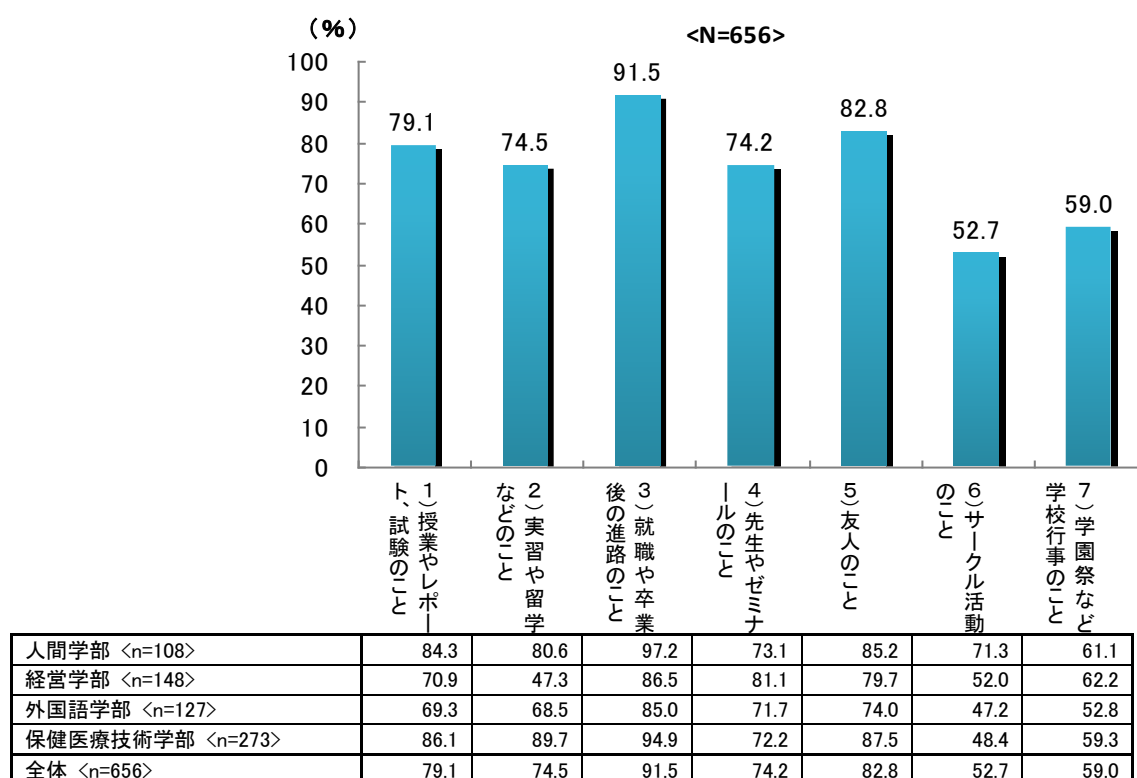


図 1-9. 家庭で話題になったこと（〈かなり話題になった〉＋〈少し話題になった〉）



卒業生全体では、「3）就職や卒業後の進路のこと」の〈かなり話題になった〉（55.0%）が5割以上を占めており、〈少し話題になった〉（36.4%）を含めると、91.5%と9割を超え、殆どの家庭で話題になっている。次に満足度が高いのが、「5）友人のこと」（82.8%）で〈かなり話題になった〉が34.3%、〈少し話題になった〉が48.5%となっている。また、《話題になった》で70%を超える項目として、「1）授業やレポート、試験のこと」（79.1%）、「2）実習や留学などのこと」（74.5%）、「4）先生やゼミナールのこと」（74.2%）、があるが、〈かなり話題になった〉が30%を超えているのは、「2）実習や留学などのこと」の32.8%のみである。

昨年度と比較すると、《話題になった》で最も増加した項目は「2）実習や留学などのこと」で71.3%⇒74.5%の3.2ポイント。次に「1）授業やレポート、試験のこと」78.0%⇒79.1%の1.1ポイント。また、〈かなり話題になった〉では、「3）就職や卒業後の進路のこと」が昨年度と同じく5割を超えており、ポイントも51.7%⇒55.0%と3.3ポイント増加している。

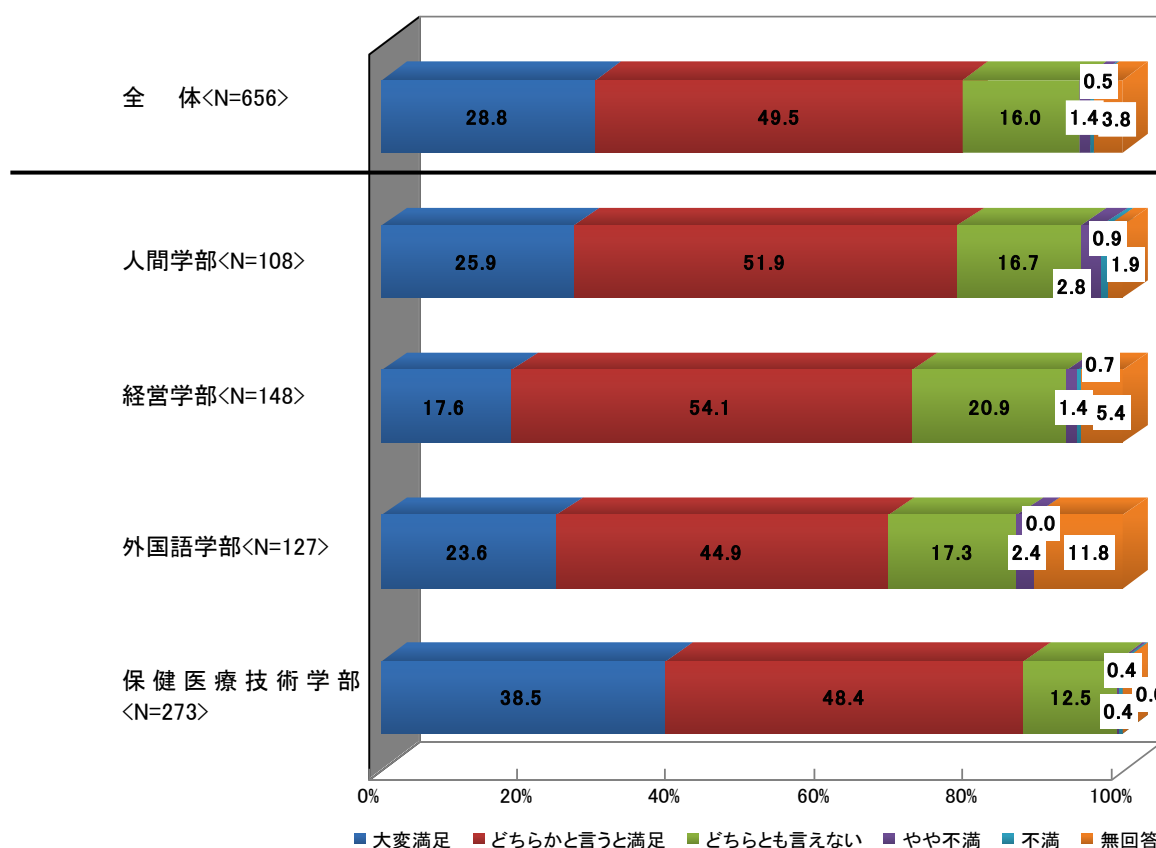
大学の学部別に見た場合、【経営学部】では「2）実習や留学などのこと」（47.3%）、【外国語学部】では「6）サークル活動のこと」（47.2%）の《話題になった》が他学部よりも低めである。【人間学部】、【保健医療技術学部】の「3）就職や卒業後の進路のこと」は、それぞれ97.2%、94.9%と9割を超えている。昨年と比較すると【保健医療技術学部】は「7）学園祭など学校行事のこと」が68.3%⇒59.3%と9ポイント減少しており、【人間学部】は、「6）サークル活動のこと」が60.7%⇒71.3%と10.6ポイント増加している。

8. 学生生活に対する総合満足度

卒業生全体で見た場合、〈大変満足〉(28.8%)、〈どちらかと言うと満足〉(49.5%)を合わせた《満足》では、78.4%となる。

【外国語学部】の《満足》は(68.5%)と7割に満たないが、《不満》と答えたものはいない。

図 1-10. 学生生活に対する総合満足度



卒業生全体では、〈大変満足〉が 28.8%、〈どちらかと言うと満足〉が 49.5%と合わせて《満足》が 78.4%となっている。

昨年度と比較すると、〈大変満足〉は 28.5%⇒28.8%と 0.3 ポイント、〈どちらかと言うと満足〉が 49.1%⇒49.5%と 0.4 ポイント増加したため、《満足》項目全体では 77.6%⇒78.4%と 0.8 ポイントの増加となった。

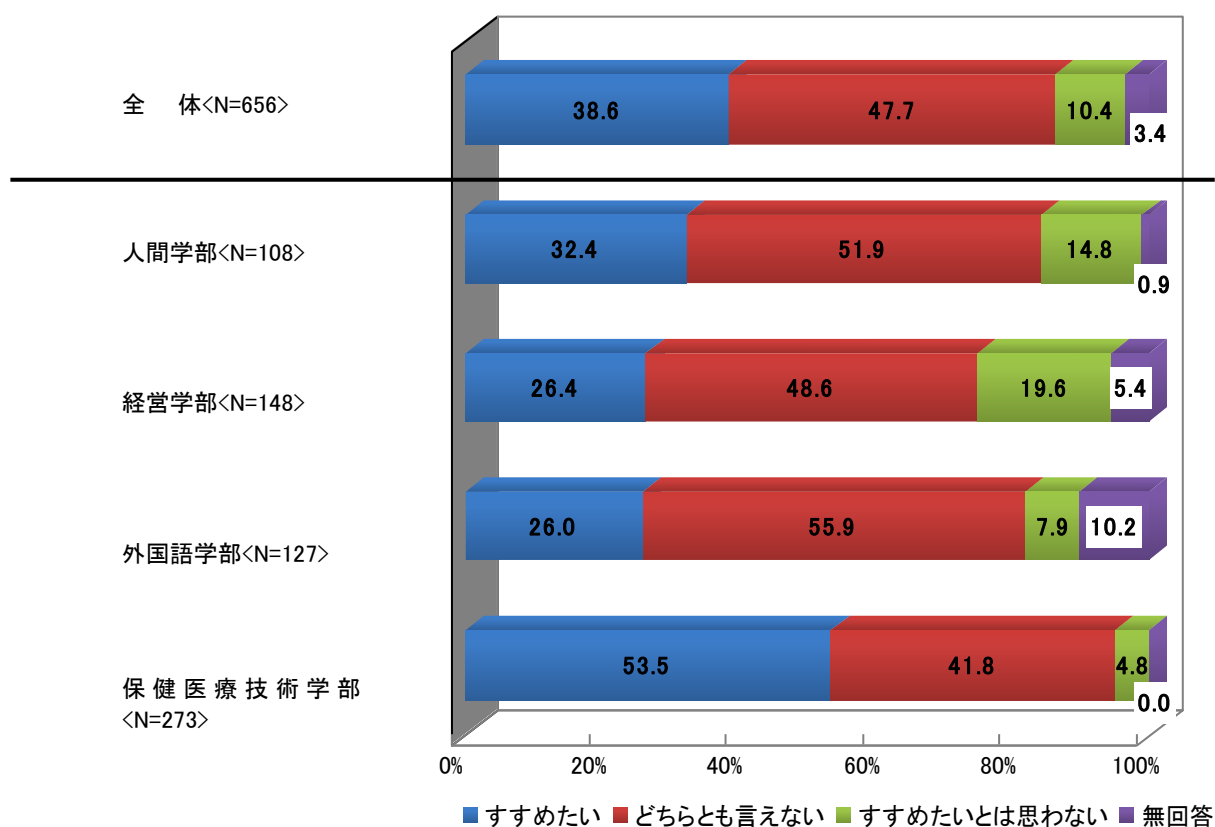
大学の学部別に見た場合、【保健医療技術学部】は〈大変満足〉が 4.1 ポイント、〈どちらかと言うと満足〉が 0.2 ポイント減少したが、《満足》項目では、86.8%となり 8 割を超えている。【外国語学部】は〈どちらかと言うと満足〉は 47.0%⇒44.9%と 2.1 ポイント減少したが、〈大変満足〉が 14.4%⇒23.6%と 9.2 ポイント増加しており、《満足》項目では 61.4%⇒68.5%と 7.1 ポイントの増加となった。

9. 家族や親族などに文京学院大学への入学をすすめたいと思うか

全体で見た場合、「すすめたい」が38.6%と約4割となっている。

【保健医療技術学部】の「すすめたい」は53.5%と5割を超えている。

図 1-11. 家族や親族などに文京学院大学への入学をすすめたいと思うか



卒業生全体では、「すすめたい」が36.7%、「どちらとも言えない」が48.8%となっている。「すすめたいとは思わない」は11.8%と約1割程度みられる。

昨年度と比較した場合、「どちらとも言えない」が48.8%⇒47.7%と1.1ポイントの減少、「すすめたい」は36.7%⇒38.6%と1.9ポイント増加している。

大学の学部別に見た場合、【保健医療技術学部】の「すすめたい」が一番高く53.5%と5割を超えている。【人間学部】と【経営学部】では「すすめたい」がそれぞれ35.0%⇒32.4%と2.6ポイント、31.2%⇒26.4%と4.8ポイント減少したが、【外国語学部】では「すすめたい」が18.9%⇒26.0%と7.1ポイント増加している。

Ⅲ. 因果分析結果

■ 総合満足度と各項目に対する満足度との因果関係

大学生生活の総合的な満足度を高めるためには、どのような項目に対する満足度を高めることが重要なのかを明らかにするため、「Q8. 総合満足度」と「Q6の10項目に対する満足度」との因果関係を、重回帰分析を用いることにより分析を行った。

卒業生の詳細な分析結果は以下のとおりである。

項 目		判定
1	授業全体の教育内容や方法	※※
2	学期ごとの成績結果	
3	ゼミナール教育や卒業論文指導	
4	大学での就職指導や進路相談	
5	学生相談や健康相談	
6	資格取得講座や留学制度	
7	大学からの日常の出来事や行事などの情報提供	
8	大学に在籍する安心感	※
9	大学に対する親しみやすさ	※※※
10	学生生活の充実度	※

※※※：総合満足度に非常に強く繋がっている最重要項目

※※：総合満足度に強く繋がっている比較的重要な項目

※：総合満足度にある程度繋がっている留意すべき項目

文京学院大学における学生生活に対する卒業生の総合満足度向上に関する評価項目を検証したところ

総合満足度に対して非常に強い関連性を持つ項目として、

9. 大学に対する親しみやすさ

が抽出された。このことは、本項目に対する評価を向上させることにより、総合満足度も高まることを示している。

また、総合満足度に強い関連性を持つ項目として、

1. 授業全体の教育内容や方法

が抽出された。本項目は総合満足度向上に比較的重要である。

また、総合満足度に対してある程度の関連性を持つ項目として、

8. 大学に在籍する安心感

10. 学生生活の充実度

が抽出された。本項目は総合満足度向上に留意すべきである。